

なかの

市議会だより

1月号

平成26年1月6日発行
No.35

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

謹賀新年 午年



奈良家の土人形「飛び馬」と「飾り馬」

●市政一般質問	その他	陳情		意見書案	人事案	事件案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
	41件	2件	1件	1件	1件	17件	2件	10件		15日間	12月17日	12月3日
	可決	採択	継続審査	否決	可決	適任	可決	可決				

12月定例会

新年のごあいさつ

議長 竹内 卯太郎



消費税率の引き上げ等、今後の経済や私たちの生活に大きな影響を与える課題が山積しているところであります。

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、日本経済は、長引く景気低迷からの脱却を目指した、いわゆる「アベノミクス」効果等により、一部企業には景気回復の兆しがでてきたとはいうものの、私たちの暮らしにおいては、未だ回復を実感できない年であったように思います。加えて、PPP問題や

そんな中、明るいニュースとして、二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しましたが、これを契機に日本全体が元気になることを期待しております。

このような状況下、本市においては池田市政のもと、地域経済の活性化や少子高齢化に対応した保健・福祉事業の充実、公共施設の今後のあり方など、多様な行政課題に取り組んでおります。

市議会といたしましては、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに向け、今後とも、議決機関としてしっかりとした議論を重ね、市政の監視役とし



ての責務を全うしていく所存でございます。

また、活力ある議会として議会改革も引き続き一歩一歩進めていきたいと考えており、昨年はその一環として、インターネットによる本会議の録画中継を開始いたしました。今後も、市民の皆様市政及び議会情報を確実にお届けするとともに、皆様のご期待に応えられる市議会を目指して参ります。

新春に臨み、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年の皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



再生可能エネルギーの普及について

永沢 清生

質問 現在までの一般住宅への普及状況はどうか。

答弁 住宅用太陽光発電システムについては、環境負荷の少ないエネルギーの普及促進を図るため、補助制度を平成21年度に創設し、取り組みを進めてきた。

件が合わず計画に至っていない。今後の各公共施設の整備にあたっては、発電効率、耐用年数、予算等を総合的に勘案し、研究したいと考えている。

質問 公共施設の屋根貸しについてはどうか。

普及状況は、平成21年度補助件数23件、補助金額27万6千円。平成22年度補助件数60件、補助金額680万9千700円。平成23年度補助件数87件、補助金額1千107万円。平成24年度88件、補助金額1千140万3千900円。平成25年は、11月30日現在、補助件数104件、補助金額1千312万3千200円。補助総件数は362件、補助総金額は、4千517万2千800円。

質問 新市庁舎及び新市民会館への太陽光発電システム設置の考えは。

答弁 来年度以降、具体的な計画や設計の中で検討していく。

農業振興について

質問 公共施設への太陽光発電システム設置の考えは。

その他の質問



市庁舎及び市民会館の
今後について

青木 豊一

質問 整備案に、市民意見を十分反映したと考えるか。

答弁 市民説明会等を実施し、案に反対の意見もあるが、市民の利便性、長期財政状況等総合的に判断したので、理解されたと考える。

質問 市は安心安全第一としたのに、浸水予想地を新庁舎予定地になぜ選定した。

答弁 許容範囲と判断した。

質問 市庁舎等50億円以内でも財政計画では3基金対市債残高は26年度2・28倍最高時4倍強になる。今後保育園、学校整備が予想され財政は厳しくなる。両施設で約50億円に自信あるか。



70億円の試算もあるが。

答弁 あるとしか言えない。

質問 庁舎等建設は①無駄なく簡素②耐震・浸水災害重視③市民要望等重視し、市民の声を十分反映するか。また各区の維持関係要望の実施は30%だ、市庁舎優先でなく暮らしや福祉重視を。

答弁 インフラ等実行する。

中野地区電気柵管理に伴う事故原因と被害者への対応及び今後について

質問 今回の事故は、民間任せが問題。今回の事故も市の事業なら保険給付が可能だ。同時に業者者の命の補償も怠った行政に責任がある。当然市に責任が発生し補償責任がある。今後、万が一の事故対応として賠償保険等加入すべきだ。

答弁 電気柵の危険箇所の永久柵、維持管理の委託補助はする。補償等は苦慮。
質問 市が民間任せ、事故対応を怠った責任がある。
答弁 被害補償、協議会のあり方も検討する。電気柵は可能な限り応えたい。

公的助成を受けた事業への地元業者活用について
質問 事業への公費補助団体に市内業者参加要請を。
答弁 要望したい。

全国学力・学習状況調査の効果と公表の必要性について
質問 公表の効果は。
答弁 学校、保護者等に説明責任が果せ重要と考える。

質問 なぜ公表が必要か。
答弁 気持ちは公表。実際は公表しない考えである。

電力の民主的改革で安心・安全な電力の供給と地域における再生エネルギーの普及促進の具体化について

質問 日本共産党の「電力

生活保護行政等福祉施策



市議会を
傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。

次の市議会定例会は3月です。





市長の政治姿勢について

高野 良之

質問 市長の考え方の実現と浸透度についてはどうか。

答弁 私の考えや進みたい

道、施策を理解してもらいたいために、私を知ってもらい、腹を割って懇談し、人となりを理解してもらおうことが、最重要と考え行動してきた。

考え方の実現と浸透度については、徐々にはあるが、考え方をご理解いただくとともに、想いについても、理解いただいているの

ではないかと感じている。

質問 中野市イノベーション推進の考えはないか。

答弁 本市のイノベーション、改革については、私の考えを理解してもらい、実現できることから、民間的手法も取り入れながら、進めていきたいと考えている。

地下水の保全について

質問 地下水保全に具体的

な計画はあるか。

答弁 県は、水資源の保全を目的に、外国資本等による目的不明な水源地の土地取引等を指導、監視していくため、土地の取引等の事前届出制を本年3月に施行した。本市の地下水の保全については、一定規模以上の井戸による地下水採取については許可制をとっているが、地下水全体については把握していない。

観光について

地下水を含めた水資源保全の計画は、水道水源や森林の保全など多岐にわたるため、今後研究していく。

質問 商標「故郷のふるさと」をどのように使うのか。

答弁 この商標を契約したことに伴い地域ブランドの強化や農産物などのPR、また、日本を代表する唱歌「故郷」を活かした音楽都市として積極的に使用していく。

質問 音楽都市としてのPRはどうか。

答弁 来年度、唱歌「故郷」を計画している。



「朧月夜」が制作されて100年を迎えるにあたり、音楽姉妹都市、知音都市、信越自然郷等の自治体から音楽団体を招き、音楽イベントを計画している。



中野市合併10周年記念事業について

町田 博文

質問 体制づくりとスケジュールはどうか。

答弁 平成27年度に記念事業を実施したい。来年26年度に検討委員会を設置し、検討委員は、市民代表ほか公募委員も含め、各年齢層

にお願いしていく。

質問 目玉事業として、信州中野市への改名を行ったかどうか。信州中野ブランドを内外にアピールする絶好のチャンスであり、機は熟していると考える。商標

「故郷のふるさと」の無償使用が可能となったが、「故郷のふるさと・信州中野市」ではじめて効果的な発信力となると考えるがいかがか。

答弁 そういう認識は持っているが、改名した場合の財政上の問題、効果等、市民の意見を聞きながら慎重に対応したい。

質問 商標登録も、信州中野ならではの定着する可能性のある商標を、市として

中野市の将来人口と少子化対策について

積極的に登録したらどうか。

答弁 必要と認められれば、どんどんとやるべきであり、やりたいと思っっている。

質問 国立社会保障・人口問題研究所が本年3月に地域別将来推計人口を公表した。中野市をみると、対二〇一〇年で二〇四〇年には

23・8%減、年齢別では、0～14歳が、41・4%減、15～64歳の生産年齢人口34・7%減、65歳以上が11・5%増、うち75歳以上が24・0%増と推計している。これをどのように受け止めて、





いるか。

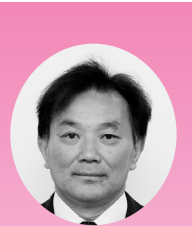
答弁 人口減少を少しでも鈍化させる施策を推進していく必要があると考えている。

質問 婚活支援を少子化対策の効果的な取り組みの一つと位置付けて、中野市と

して積極的に取り組んでいくことを提言するがいかがか。

答弁 民間による自主的な活動に対し支援をしていく。

質問 広域化により支援していくことが望ましいと考える。この観点から、姉妹



公共拠点施設等について

松野 繁男

質問 一連の市民の意見を聞く機会を終了した現時点で、市庁舎と市民会館整備について、市民の理解は得られたと思うか。

答弁 整備案については、市民説明会、広報なかのへの掲載、パブリックコメントを実施し、整備の必要性、立地と整備手法、選定の理

由などについて、市民の理解は得られたと考えている。

質問 規模・予算・建設場所・分散している行政機能や旧中野高校校舎の取り扱

い等、今後の進め方は。

答弁 来年度に基本計画、基本設計を策定したいと考えており、その中で具体的に検討、精査し示していきたい。旧校舎の活用については、市民会館の建設場所に関連するため、来年度内に庁内に検討会を立ち上げ、市民会館の施設内容などの検討と整合を図り、市民の意見を聞きながら検討を進

める。事業の進捗に応じて議会及び市民に丁寧の説明していく。市庁舎の建設に関して、市民参加の検討会の立ち上げも考えている。

イノシシ等の害獣対策について

質問 市の取り組みと今後の対策については。

答弁 害獣による農作物被害対策として電気柵設置が有効であり、市では材料費の8割の補助を実施している。豊田地域については、

個体数調整の要望があることから関係者と協議しながら、その方向で進めていく。

豊津地区の臭い問題について

質問 市の取り組みと今後の対策はどうか。また、発生源の特定はどうか。

答弁 発生源と思われる施設に県と共に立入検査を行い、不備な点は改善した。発生源の特定は、豊津周辺に施設が複数あり難しい。今後は、引き続き臭気測定を行うとともに、問題発生時には県と連携し、指導や協力要請を行っていく。

千曲川築堤事業の促進について

質問 上今井橋下流の築堤の見通しはどうか。

答弁 国土交通省公表の信濃川水系の今後30年間の整備計画に築堤は盛り込まれていない。計画案には、流下能力を高めるための河道

掘削が引き続き計画されている。市として、この計画が少しでも前倒しして進められるよう要望していく。

全国学力・学習状況調査の学校別成績公表解禁について

質問 来年度から「学校別の成績公表を自治体の教育委員会の判断で認める」とした文部科学省の方針について、教育委員会の考えは。

答弁 学校規模が地域により異なることや、学校間の序列化や過度の競争につながる恐れがあること等の理由から公表は考えていない。

その他の質問
指定管理者の指定について

その他の質問

かがか。

答弁 社会福祉協議会で広域的に計画されており、まずは、地域的、社会的に近いエリアでの連携による開催に支援していく。「月の兔」は既に活用している。

災害時避難対策について
雑誌スポンサー制度の導入について
投票率の向上に向けて子ども議会について



**魅力的で活気ある
中野市づくりについて**

小林 忠一

質問 中野市は、霊山高社の裾野・夜間瀬川の扇状地であって、大沼池からの八ヶ郷用水に恵まれた環境豊かな地にある。その土地柄の環境から生まれる豊富な農業生産物は、県下有数の生産高を誇っている。

一方、中心市街地は、中野小町の「町の真中に川がある」風情ある街並みが消え、郊外の大形店に買い物客が集まる状態と変化していった。起死回生の策と

して、電線地中化を施行し、美しい姿に生まれ変わったが投資効果が顕著に現れていない現状がうかがえる。個々の専門店の努力には限界があり、一時的でバラバラでない統一性・協調のとれたイベントが必要である。全店参加の企画がぜひ必要と思われる。

そこで、中心市街地に人を集める政策はどうか。
答弁 中心市街地は、都市生活・日常生活・交流活動

の中心。ふるさと情緒あふれる賑わいのまちになるよう関係機関と協力し活性化事業に取り組んできた。現在「光と音のシンフォニー」や「まちかど土びな展」など商店街主体で取り組まれている。商店街の活性化のためには、一過性でなく、商店街の個々の店にお客が来なくなる事業展開が必要。信州中野商工会議所・中野市商店会連合会では「まちゼミ」事業の準備を進めている。お店のファンをつくる新しい取り組みに注目している。

中央広場公園と中野陣屋前広場公園は、憩いの場、ローズタウン・九斎市等で機能している。

質問 中野市は、中山晋平・高野辰之先生の生誕地であり、音楽都市を名乗っている。市内どこでもその雰囲気や伝わり、唱歌が流れる田園の姿こそ、名実ともに両先生の偉業を伝えるにふさわしいまちではないか。
答弁 市内にゆかりの曲が流れることで、生誕地であることを知っていただくこと、また音楽文化の振興に繋がると考え、流す音源の研究を進めている。準備でき次第可能な箇所から実施する。

若い人が定着できる中野市づくりについて

質問 就職先・職業確保に

ついて、工場団地開発・企業誘致の現状はどうか。
答弁 二つの工場団地は、分譲を完了し、空き区画はない。現在の経済状況から新規団地開発の予定はない。新たに起業する人が中野市へ来てもらえる施策も取り組みたい。

**その他の質問
遊休農地の積極的活用について**



**特定秘密の保護に関する
法律案について**

阿部 光則

質問 国民の知る権利や国民民主権、平和主義を踏みにじる恐れが指摘され、多くの国民が慎重審議や廃案を求めている中で、強行採決

で成立した法律への見解は。
答弁 国民の知る権利等に関して、国の恣意的な情報秘匿が懸念される。一定のルールやチェック機能の

**消費税増税中止を求める
ことについて**

質問 来年4月より消費税が5%から8%に増税されるが、農家等から死活問題であると聞く。増税中止を求める世論は強いが見解は。
答弁 世論はさまざまであるが、国政の重大事案であ

り、より多くの国民の声を聞いて判断すべきである。
質問 アベノミクスによる成長が急減速に転じた。増税後の景気の失速が懸念される。増税中止を求めているかどうか。
答弁 増税後の地域経済や市民生活への影響が少なくなるよう適切な対策を希望するが増税中止は求めない。

農業政策について

質問 米政策の大転換により、米の需給管理を民間や市場に任せることの見解は。
答弁 見直しは、大規模農家が米を自由に生産できるようにし、農地の集約、コ

ストの削減等により競争力を強化する施策である。
質問 市には、農業機械等の導入にあたり、共同利用の支援策はある。近隣の自治体で行っているような個人への支援策はどうか。
答弁 考えていない。

乳幼児等福祉医療費給付金の対象年齢拡大について

質問 高校卒業程度まで拡大している自治体が増えていく。さらなる子育て支援として拡大はどうか。どの程度の予算措置が必要か。
答弁 拡大は考えていない。現行制度の実績から推計すると年約1千100万円になる。
質問 受給者負担の軽減や無料化、窓口無料化への要望は高いがどうか。
答弁 受給者負担は、制度を支え合うべきで考えていない。窓口無料化は難しい。

公共交通について

質問 バスの運行で土・日祝日等の運行への対応は。
答弁 利用実態調査を行い地域公共交通対策協議会において、見直し等について協議したい。

市長の政治姿勢について



金子 芳郎

新庁舎及び市民会館問題について

皆さんに見直しを説明する責任があると思うがどうか。
答弁 あくまでもたたき台である。
質問 他市の例を参考にして積算すると新市庁舎建設費用は34億円が掛かると試算したが、見直しの考えは。
答弁 まだ具体的内容の結論が出ていない。
質問 新市民会館の建設費を設計業者に積算をお願いした。金額は36億円と示された。23億円とは13億円の差額である。
答弁 今後、具体的に調査する。
質問 新市庁舎、新市民会館にかかる私の積算の合計が70億円。市の説明では約49億8千万円。この差額をどう捉えているか。
答弁 今後内容等を検討し、正確な金額を算出していく。
質問 現庁舎を耐震補強する工事費はいくらか。
答弁 5億1千万円と試算。
質問 現庁舎を耐震補強工事して再利用すべきでないか。
答弁 その考えはない。

農政策について
スポーツ施設について

その他の質問
質問 小沼区の道路沈下の対応策が遅れている。その結果として台風、大雨による通行止めが陥ったが対応策は考えているか。
答弁 小沼区からの要望を受けているが、大規模な改修となることから、現在は

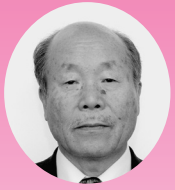


質問 就任1年間の主な事業成果はどうか。
答弁 地域力支援事業、情報発信推進本部の設置、インフルエンザ予防接種の助成対象者の拡大を図った。
質問 次年度の取り組みは。
答弁 飯山駅開業、合併10周年に向けての観光を中心とした各種施策を進める。
質問 老人福祉施策は。
答弁 従来どおり行う。
質問 消費税8%の市の影響については調査されるか。
答弁 動向に注視していく。

事業費の積算根拠は。
答弁 5年前の試算を適用した。
質問 5年前と現在では積算が違うのではないか。
答弁 あくまでも参考であり、今後積算を公表する。
質問 議会や検討委員会には1.3億2千万円と説明された。他市を調べると1.3億3千万円である。市民の

新市庁舎及び市民会館問題について

新市庁舎、新市民会館にかかる私の積算の合計が70億円。市の説明では約49億8千万円。この差額を



市庁舎・市民会館建設
について

高木尚史

質問 平成23年2月臨時市議会
で旧中野高校跡地の取得に際し、議
会が附帯決議を可決したが見解は
どうかか。

答弁 尊重することが大切であり、議
会、市民の皆さんの意見を聞いてい
きたい。

質問 市庁舎の建設位置は、現在の市
民会館を先行して解体し、その跡地
に建設してはどうか。庁舎と市民会館
建設費用について、現時点で市が見
込んでいる額を約50億円とすると、
消費税3%増税で1億5千万円、

5%増税で2億5千万円が上乗せとなる。解体を先行することによ
って解体費用は消費税増税分の差額で捻
出できるのではないかと。

答弁 市庁舎の規模、予算建設場所につ
いては平成26年度に基本計画・基本設計を策定する
中で具体的に検討していきたい。市民会館
については、庁内に検討委員会を立ち上
げ、市民の皆さんの意見を聞いて検討し
ていきたい。

野生鳥獣対策事業について

質問 8月4日、中野地区の電気柵維持管理の草刈り作業中に、出役者が重篤な状態になる事故が
発生した。家族の看護は大変な状況にあり、事故発生に
対する補償に努めるとともに、他の協議会を含めて、今
後の維持管理に対する安全性確保などの対応はどうか。

答弁 事故の対処について苦慮している。中野地区電気柵協議会から要望書が提出されて、危険箇所の永久柵への転換や、維持管理の外部委託費用に対する補助の予算化について回答した。

奨学金制度の現状について

質問 医師確保策の事業として、医師奨学金と医師研究資金の貸し付け事業の実態はどうなっているか。

答弁 医師奨学金貸し付けの利用者は7名で、うち、3名は卒業と共に医師免許を取得し2名は北信総合病院に勤務、1名は北信総合病院で研修後、信州大学医学部付属病院で研修中。4名は医学生として在学中。医師研究資金貸し付けの利用者は2名で、北信総合病院に勤務され、1名は貸付期間終了後退職された。

質問 貸付金の返還免除後も、医師として引き続き勤務される体制づくりが必要ではないか。

答弁 北信総合病院等と連携を図っていきたい。



公契約条例について

質問 長野県が実施したパブリックコメントの見解は、市としての直接的な見解は差し控えたい。

質問 市として条例制定は、**答弁** 県の動向や、情報収集に努め研究していきたい。

その他の質問
高年齢者等の雇用の安定等に関する法律について

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案2件、予算案1件、事件案2件、意見書2件、陳情1件について12月12日に審査しました。

主なものは、条例案では中野市市税条例の一部を改正する条例案で、市内温泉施設の入湯客の負担軽減を

図るためのもので、原案どおり可決しました。他の条例案1件も原案どおり可決しました。

予算案では、平成25年度中野市一般会計補正予算(第4号)については各事業費の確定等による変更、財源組替などで、消費税で

は、46万8千円の増額であり、原案どおり可決しました。

また、事件案2件は、いずれも原案どおり可決と決しました。

意見書では、消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書について、消費税10

%に増税することを前提とした軽減税率制度の導入は理解できない等の意見があり否決。「特定秘密の保護に関する法律」の即時廃止を求める意見書については、実効性のある検証可能な機関の設置など、いろいろ問題があり継続審査との意見

があり、継続審査について、採決した結果、継続審査と決しました。

陳情では、治安維持法犠牲者(家族を含む)に対して国家賠償法制定を求める意見書採択に関する陳情について、採決と決しました。



民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案3件、予算案1件、事件案3件について12月12日に審査しました。主なものは、条例案では

中野市病児・病後児保育施設条例案で、疾病にかかっている集団保育の困難な児童（回復の過程にあるものを含む）を一時的に預かる

ための施設設置に関するもので、全会一致で可決しました。

予算案では、平成25年度中野市一般会計補正予算

（第4号）歳出のうち、民生費では、障害者福祉施設維持整備事業費40万9千円の増額などであり、可決と決しました。

このほかの条例案2件、事件案3件については、いずれも原案どおり可決と決しました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案5件、予算案2件、事件案12件について12月12日に審査しました。主なものは、条例案では

中野市間山温泉公園条例の一部を改正する条例案で、浴槽等の清掃に専念することを目的に、毎週木曜日を休業日とするもので、全会

一致で可決しました。

予算案では、平成25年度中野市一般会計補正予算（第4号）歳出のうち、農林水産業費では、新規就農

者支援事業で98万1千円の増額、商工費では、商店街活性化事業費122万5千円の増額等であり、他の予算案1件と同様にいずれも原案

どおり全会一致で可決されました。このほかの条例案4件、事件案12件については、可決と決しました。

高速交通対策特別委員会報告

11月25日に高速交通対策特別委員会協議会を開催し、市内の北陸新幹線整備の進

捗状況などについて現地視察を実施しました。

現地視察では、北陸新幹線の西笠原消雪基地、北陸新幹線飯山駅、北陸新幹線飯山駅合築施設及び周辺整備を視察しました。

中野市内の関連する工事は、すべてが完成し、飯山駅は現在、急ピッチで工事が進められています。

北陸新幹線の延伸となる長野—金沢間は231kmで、平成26年度末の開業を目指して整備が進められています。12月2日には、北陸新幹線列車試験走行歓迎イベントが飯山駅で行われ、試験走行車両のイースト・アイが試験走行するなど、開業に向け期待が高まります。



▲北陸新幹線飯山駅の視察



▲西笠原消雪基地の視察



● **アクセス方法** 中野市議会ホームページから議会中継にアクセス (パソコンのみ閲覧可能)

● **中野市議会ホームページ**

<http://www.city.nakano.nagano.jp/gikai/>

中野市議会議会中継

検索

● **配信している議会** 平成25年6月市議会定例会分～

● **配信時期** 各定例会・臨時会終了後、約1週間後

● **配信実施後の録画中継範囲** 過去2年間分

ご覧ください

議会インターネット録画中継

市議会では、議会改革の一つとして、議会の見える化と議会に関心を持っていただくため、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネットの録画中継は、今年の6月市議会定例会分からの実施で、パソコンからインターネットに接続できる環境があれば、いつでも本会議の様を視聴することができます。市議会のホームページから、議会中継にアクセスしていただき、ぜひご覧ください。



意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)」の制定を求める意見書

治安維持法犠牲者は、平和を願う人権尊重と主権在民を唱え、戦争に反対したために逮捕され、拷問による虐殺・獄死という多大な犠牲を受けた。

日本が、ポツダム宣言を受諾したことにより、治安維持法は、反人道的、反民主的な法律として廃止され、「有罪判決」を受けた人々は「無罪として」釈放されたが、その犠牲者に対して国はいまだに謝罪も賠償も行っていない。

ドイツ、イタリア、アメリカ、カナダなどの諸外国では、日本の治安維持法にあたる諸法の犠牲者に対して、謝罪と賠償を行っている。

よって、中野市議会は、国に対し、同じ過ちを繰り返さない立場から、「治安

陳情

維持法犠牲者国家賠償法(仮称)を制定し、犠牲者に対して一日も早く謝罪と賠償を行うよう強く要望するものである。

◎治安維持法犠牲者(家族を含む)に対して国家賠償法制定を求める意見書採択に関する陳情

陳情者 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟長野県支部支部

支部長 遠山 茂治

(中野市大字永江一八一四番地四)

第3代後期議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	高野 良之
副委員長	芋川 吉孝
委員	阿部 光則
清水 正男	松野 繁男
永沢 清生	武田 俊道
町田 博文	小泉 俊一
金子 芳郎	

あとがき

新年明けましておめでとうございます。皆様方には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の中野市においては、市庁舎・市民会館の建設の方針が決定したほか、北信保健衛生施設組合の斎場も建設位置が決まりました。依然として、財政は厳しい状況ではありますが、中野市発展のために鋭意努力して進めてほしいと思います。

また、昨年は日本各地で台風・竜巻等の災害がたくさん発生し、多くの皆様が被災されました。中野市においては、被害が予想より少なく、不幸中の幸いではなかったかと思っております。

うれしい出来事としましては、東京オリンピックが決まったことが一番印象深く感じる場所です。

昨年の一年を「輪」であらわす漢字は「輪」でした。オリンピックの五輪、人の輪に通じるものと思います。本年は「輪」を広げ、みんなで明るく楽しい年にしたいものです。